

【国際交流】フィンランド海外研修に行ってきました

平成28年9月10日から20日まで16名の学生がフィンランド研修に参加しました。学術協定校のヤムク大学は看護、理学療法、社会福祉等、本学と共通の学部を有する応用科学大学で、社会人や留学生が多いことが特徴です。

本研修では福祉先進国家、教育国家と言われるフィンランドの医療、福祉、教育事情を学ぶため、ヤムク大学での講義の他、病院、福祉施設、小学校、リハビリスパセンター等を訪問し、学生とのディスカッションを通して、日本との違い、その背景等を学修しました。

訪れた小学校には囲みのフェンスなどなく、教室から外に出ると森が一面に広がっています。休み時間は毎回全員外に出て遊ぶというルールがあり、気温がマイナス25度以下でなければ、雨の日も、雪の日も1年を通してそれは実行されるのだそうです。国土の70%が森と湖という広大な自然そのものが児童たちにとっては身近な庭であり、日常でもあるのだと実感しました。

湖畔にあるリハビリスパセンターではリハビリ用のマシンや、フィットネスルームの他にプール、サウナルーム、レストラン等が併設されており、明るい雰囲気の中でリハビリでき、週末など家族とともに楽しむことができる配慮がされています。

本学学生は一連の視察、講義の後、このセンターでフィンランド文化の一つであるサウナ体験をし、ヤムク大学の学生とプールで泳ぐなど、大いに交流を深めました。

協定提携後初めての研修でしたが、充実した10日間を過ごすことができました。今後も、ヤムク大学との交流の芽を大きく育てていきたいと思えます。

* 本研修は日本学生支援機構の留学生支援制度(協定派遣)に採択され、奨学金を得て実施されました。



学生交流



本学学生のプレゼンテーション



中央病院救急部門視察



小学校視察